

グリーン・イノベーションに向けた気候変動研究の新しい展開

# 気候変動対応 フォーラム

地球温暖化問題の解決とあわせて社会の活性化を実現するために、グリーン・イノベーションの実現が強く期待されています。そのため、地球観測、気候予測、影響評価といった気候変動研究を、社会インフラのグリーン化をめざす社会システム技術の開発、さらに先進的な社会実験と連結して展開する新しい研究の枠組みの構築が大きな課題となっています。平成22年度に気候変動への適応や社会システムの改革をめざす複数の研究プログラムが始まったのを受けて、広く研究者・関係者の間で情報を共有し、今後の連携を進めるために、シンポジウムを開催します。

開催日時

平成22年7月23日(金)  
13:30~17:30 (開場 13:00)

開催場所

中央合同庁舎第4号館2F 共用220会議室  
(〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1)

定員

250名 参加費 無料

## お申込み

お名前、ご所属、メールアドレスご記入の上、下記のアドレスにメールを送信下さい。  
件名は、「気候変動対応フォーラム参加登録」として下さい。  
先着順に受け付けさせていただきます。  
また、登録者数が定員に達し次第締め切らせて頂きます。

お申込み先メールアドレス

[s8admin@nies.go.jp](mailto:s8admin@nies.go.jp)

共催

○科学技術振興調整費「気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム」  
○文部科学省「気候変動適応戦略イニシアチブ」 ○環境省 環境研究総合推進費「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究(S-8)」 ○科学技術振興機構(JST)低炭素社会戦略センター  
○国連大学サステナビリティと平和研究所 ○内閣府 ○文部科学省 ○環境省

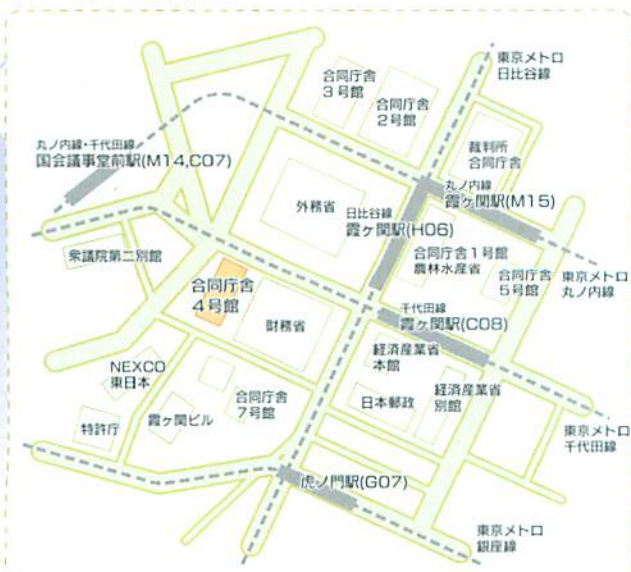


# プログラム

コーディネーター： 廣木 謙三(内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付参事官)

- 13:30 開会  
開会挨拶 相澤 益男(内閣府総合科学技術会議議員)
- 13:45 講演1(講演時間は各15分)  
13:45 「気候変動対応研究の目標」  
三村 信男(茨城大学地球変動適応科学研究機関長)
- 14:00 「気候変動予測研究の現状について」  
河宮 未知生((独)海洋研究開発機構地球システム統合モデリング研究チームリーダー)
- 14:15 「炭素循環研究におけるデータ統合・解析の役割」  
今須 良一(東京大学大気海洋研究所・准教授)
- 14:30 「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究に向けて」  
脇岡 靖明(独立行政法人国立環境研究所・主任研究員)
- 14:45 パネル討論1  
「グリーン・イノベーションに向けた気候変動観測・予測・解析の展望」  
パネリスト:講演1での報告者及び関係省庁
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45 講演2(講演時間は各15分)  
15:45 「地域における温暖化影響・適応策の課題」  
田中 充(法政大学大学院政策科学研究科・教授)
- 16:00 「森と人が共生するSMART工場モデル実証ー中山間地域発、社会システム変革の実現に向けてー」  
小田 喜一(岡山県産業労働部グリーンバイオ・プロジェクトマネージャー)
- 16:15 「エネルギーと生活情報を統合するライフインフラ」  
金子 郁容(慶應義塾大学政策・メディア研究科・教授)
- 16:30 「低炭素化のための社会システムと科学技術」  
山田 興一(科学技術振興機構低炭素社会戦略センター・副センター長)
- 16:45 パネル討論2  
「グリーン・イノベーションに向けた気候変動対応研究の展望」  
パネリスト:講演2での報告者及び関係省庁
- 17:30 閉会

## アクセス



中央合同庁舎第4号館2F 共用220会議室  
(〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1)

## 問い合わせ

環境研究総合推進費S-8事務局

(独立行政法人国立環境研究所内)

E-mail: [s8admin@nies.go.jp](mailto:s8admin@nies.go.jp)



古紙/再生紙配合率 100%